

ふくおか & MAFF

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

2026.1

Vol.75

2026年1月21日発行

Contents

- 東峰村獣肉処理加工施設 ～鳥獣被害を食い止め、ジビエで地域を元気に！～
- 令和8年度予算・令和7年度補正予算のお知らせ
- 2025年農林業センサス結果の概要を公表しました(概数値)(令和7年2月1日現在)

東峰村獣肉処理加工施設

～鳥獣被害を食い止め、ジビエで地域を元気に！～

鳥獣による農作物被害が問題となり、捕獲が進められるとともに、ジビエとしての利用も全国的に広まる中、東峰村で新たな獣肉処理加工施設が誕生しました。鳥獣被害対策を行う自治体や関係組織の皆様にお話を伺いましたので、ご紹介します。

村での鳥獣被害対策を教えてください

侵入防止柵等の設置や猟友会会員(26名)の実施隊を組織して年間を通じた捕獲活動や追い払い等を行っています。また、捕獲したイノシシ等を加工するために、獣肉加工施設を整備しました。

獣肉加工施設での取組は？

合同会社 山のぼせが施設の運営を行っています。メンバーは、**猟師、解体技術者、料理人**等の5名。始めたばかりの活動ですが、猟師が捕獲したイノシシやシカについて、**同社が止め刺しを行い、処理加工施設に搬入し、解体、加工**を行っています。現在は商品化に向けたサンプル作製等を主に行っています。

課題や今後の展望は？

実施隊の後継者不足や高齢化が課題です。

狩猟免許を取得しても捕獲活動につながらなかったり、若手は平日昼間の活動が厳しく、迅速な止め刺し作業や平日の一斉捕獲作業等は難しい状況です。**昼間に活動できる実施隊員の確保が重要**と考えています。

獣肉加工に関しては、**皮や内臓等の残渣処理の費用が課題**であり、減容化等を検討しています。ジビエの商品化に当たっては、ペットフードも視野に入れ、販売先の確保に力を入れる等、なんとか軌道に乗せていきたいと考えています。

意見交換、ありがとうございました！



a 「山のぼせ」と関係者の皆様。会社名は、「山にほれ込んだ者たち」を表し、猟師の高齢化が進む中、鳥獣被害を何とか食い止めたいという思いで活動。/ b 獣肉処理加工施設外観。

写真：一部東峰村役場様よりご提供

▷ 鳥獣被害対策コーナー（農林水産省サイト） <https://www.maff.go.jp/j/seisan/toyozu/higai/index.html>



令和 8 年度予算・令和 7 年度補正予算のお知らせ

令和 8 年度農林水産関係予算概算決定について、総額 2 兆 2,956 億円（対前年度比 101.1%）（令和 7 年 12 月 26 日閣議決定）、令和 7 年度農林水産関係補正予算について、総額 9,602 億円（令和 7 年 12 月 16 日成立）となりました。

新たな食料・農業・農村基本計画を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現します。

令和 8 年度農林水産関係予算の概要

- 1 **食料安全保障の強化**・・・農業構造転換集中対策、水田活用の直接支払交付金等
- 2 **農業の持続的な発展**・・・地域計画の実現に向けた支援、スマート農業技術活用促進集中支援プログラム等
- 3 **農村の振興**・・・農山漁村振興交付金、鳥獣被害防止対策とジビエ利用の推進
- 4 **環境と調和のとれた食料システムの確立**・・・みどりの食料システム戦略推進総合対策等
- 5 **多面的機能の発揮**・・・多面的機能支払交付金
- 6 **2050 年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開**
- 7 **海洋環境の激変に適応するための水産業の強靱化**

▷ 令和 8 年度農林水産予算概算決定の概要

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r8kettei.html>

▷ 令和 7 年度農林水産関係補正予算の概要

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r7hosei.html>

補助事業参加者募集情報

- ・緊急時液卵加工流通円滑化対策事業（令和 7 年度補正予算）（公募期間：1 月 22 日（木）17 時必着）
- ・令和 7 年度新基本計画実装・農業構造転換支援事業のうち麦・大豆ストックセンターの再編集集約・合理化（公募期間：1 月 26 日（月）17 時必着）
- ・令和 7 年度米粉需要創出・利用促進対策事業のうち米粉原料安定供給事業（公募期間：1 月 30 日（金）17 時必着）

現在募集中の事業の一部です。詳細はこちら ▷ <https://www.maff.go.jp/j/supply/hozoyo/index.html>

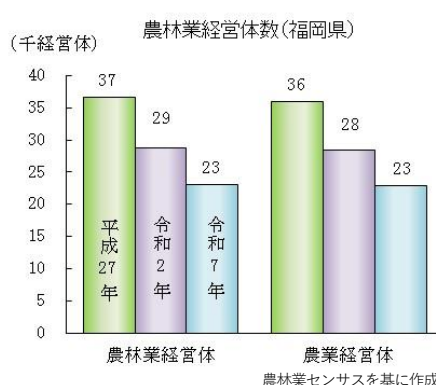
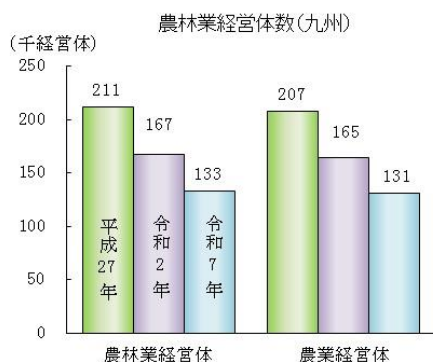


2025 年農林業センサス結果の概要を公表しました

（概数値）（令和 7 年 2 月 1 日現在）

農業経営体の減少が続く中、法人経営体は 5 年前に比べ 7.9% の増加となりました。1 経営体当たりの経営耕地面積は 3.7ha となり、0.6ha の増加となりました。また、経営耕地面積 20ha 以上の農業経営体の面積シェアが、初めて 5 割を超えるなど、規模拡大が進展しています。

全国の農林業経営体数は 83 万 9 千経営体で、5 年前に比べ 25 万 3 千経営体（23.2%）減少しました。このうち、農業経営体は 82 万 8 千経営体となり、5 年前に比べ 24 万 7 千経営体（23.0%）減少しました。九州の農業経営体数は 13 万 1,414 経営体となり、3 万 3,146 経営体（20.1%）減少、同じく福岡県は 2 万 2,924 経営体となり、5,451 経営体（19.2%）減少しました。



農林業センサスとは

我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5 年ごとに行う調査です。



▷ 詳細はこちら（農林水産省サイト）

全国 <https://www.maff.go.jp/j/press/tokei/census/251128.html>

九州 <https://www.maff.go.jp/kyusyu/press/toukei/251128.html>

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

